

## 【実験<sup>じっけん</sup>7:丸くなる水?】

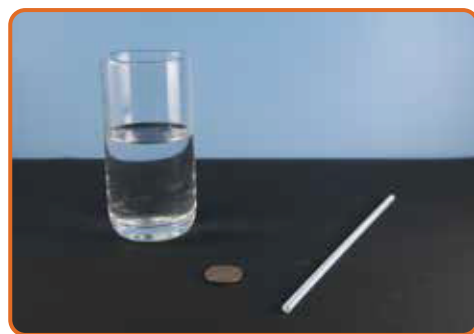
ー 推奨クラス:ミドルクラス・アドバンスクラス ー

### ■実験<sup>なが</sup>の流れ

ストローですい上げた水を「1てき」ずつ、10円玉の上にたらししていきます。そのとき、水がじょじょにもり上がるようすを観察(かんさつ)してみましょう。

### ■用意<sup>ようい</sup>するもの

ストロー、水、10円玉



### ■実験<sup>てしゅん</sup>の手順

- ①ストローの先を1センチメートルくらい水にさし入れて、ストローの反対側(はんたいがわ)の口の部分(ぶぶん)を親指(おやゆび)でしっかりふさぎます。
- ②そのままストローを10円玉の上に持(も)って行き、ストローの口をおさえている親指の力をゆるめます。
- ③10円玉に水を1てきずつ、落(お)としてゆきます。
- ④どのようなになったら水が10円玉からこぼれるかを、かくにんします。



### 【実験<sup>はじ</sup>を始める<sup>まえ</sup>前に】

■実験を始める前に実験のやりかたをよく読(よ)んで、さいごにどうなるか、考えて(予想:よそうして)みましょう!

[ ]

### 【実験<sup>お</sup>が終わったら】

■予想したことと、実験の結果(けっか)は同(おな)じでしたか? もしちがっていたら、その理由(りゆう)を考えましょう。

[ ]

### 【考えるヒント】

- ①水には、もともと「丸くなろうとする」性質(せいしつ)があります。10円玉の上の水の形(かたち)を、横(よこ)から見てしっかりとかくにんしましょう。
- ②コップに水をためて、水の上に「しんちょう」に1円玉をうかべてみましょう。うまく、うきましたか? つぎに、10円玉で同(おな)じことをやってみましょう。10円玉は、どうなりましたか?
- ③1円玉のまわりの水が、どのような形をしているか、よくかんさつしましょう。